フランジ取付形取扱資料

■フランジ取付形（形式：CNFM，CHFM，CNF，CHF など）の組付け時の注意点について

フランジ取付形は、サイクロ減速機の枠部とカバー部を固定している「枠締付ボルト」で、相手機械を共締めすることによって取り付けるタイプです。

■組付要領

①ファンカバーが付いている場合（レデューサの枠番6160以上）は外してください。

②枠締付ボルトと枠締付ナットを外します。ナットをゆるめる時は、枠締付ボルトがつれ回りをすることがありますので、ご注意ください。

③出荷時に枠締付ナットと外カバーの間に、枠締付ナットとサイズが異なるナットを組み付けている場合があります。
これは、枠締付ナットと外カバーの当り面の傷防止と、枠締付ボルトのネジが無い部分の逃げを目的としたスペーサー代わりのナットですので、外してください。

④相手機械に組み付けて、枠締付ボルトと枠締付ナットを表F26の締付トルクで締め付けてください。

■ご注意

・枠締付ボルトを取り外した場合の減速部の分解を防ぐために、枠締付ボルトの2か所（対角）に分解止めナットを施行しています。分解止めナットを取り外すと、外カバー、枠、内カバー、モータなどが分解して落下、けがをするおそれがありますので、分解止めナットは取り外さないでください。

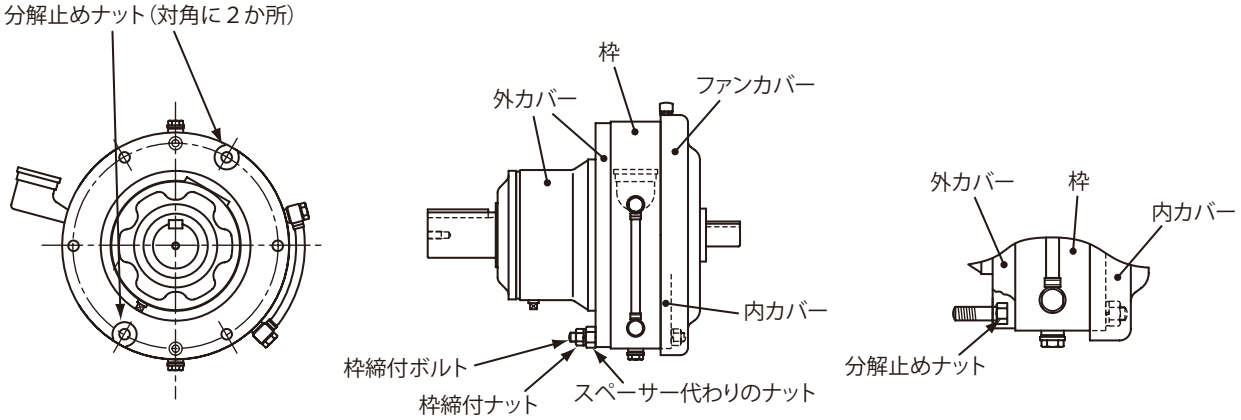
・枠締付ナットを取り外した分解止めナットのみの状態では、十分な締付力が得られないため、分解止めナットのみの状態で長時間放置したり、激しく 動かしたり衝撃をあたえないでください。各合わせ面にすきまができると、 潤滑油やグリースが漏れるおそれがあります。

・枠締付ナットを締め付けることよって分解止めナットの軸力が変わり、分解止めナットがゆるむ場合があります。相手機械に仮組付け後サイクロ減速機を取り外す場合は、分解止めナットがゆるんでいないか確認をしてください。

・分解止めは、相手機械側からのナット締めを想定しています。相手機械側の取付部がめねじで植込みボルトなどで取り付ける場合は、分解止めを枠締付ボルト以外の部位に変更することができますので、ご照会ください。
ただし枠締付ボルトの内カバー（もしくは継カバー・中間カバー）取付部がめねじの製品は、めねじによる相手機械への取り付けはできません。

・外カバーのインロー径に近接した部分に、座やプラグなどが出っ張る製品があります。相手機械の取付部材が外カバーのインロー径より内側にある場合は干渉のおそれがありますので、ご照会ください。

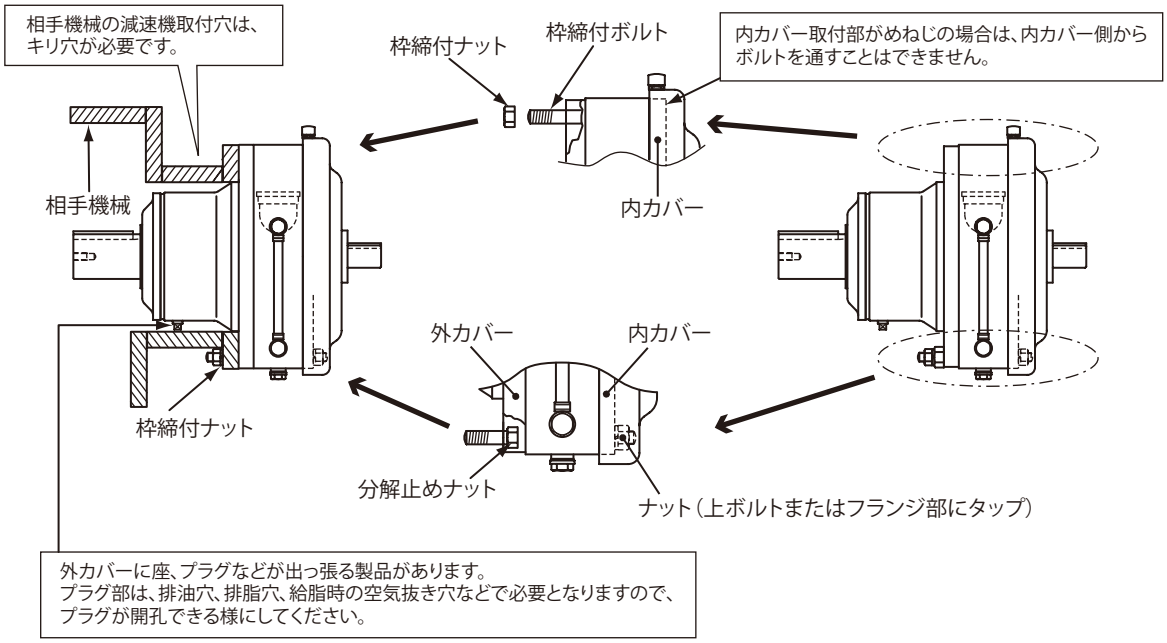
■構造



注）分解止めナットの位置や各部位の形状は、枠番によって異なります。

フランジ取付形取扱資料

■取付例



■枠締付ボルト・枠締付ナットの締付トルク

表 F26　締付トルク

枠番		サイズ	締付トルク N・m
1 段形	2 段形		
606 □	606 □ DA	M6	11
607 □	607 □ DA		
608 □	-	M8	25
609 □	609 □ DA		
610 □	610 □ DA		
611 □	-		
612 □	612 □ DA, 612 □ DB	M10	55
613 □	613 □ DA, 613 □ DB, 613 □ DC		
614 □	614 □ DA, 614 □ DB, 614 □ DC		
616 □	616 □ DA, 616 □ DB, 616 □ DC	M12	96
617 □	617 □ DA, 617 □ DB, 617 □ DC		
618 □	618 □ DA, 618 □ DB		
619 □	619 □ DA, 619 □ DB		
6205	6205DA, 6205DB	M16	219
6215	6215DA, 6215DB	M18	298
6225	6225DA, 6225DB	M20	475
6235	6235DA, 6235DB		
6245	6245DA, 6245DB	M24	794
6255	6255DA, 6255DB		
6265	6265DA	M30	1590

注）1. □には減速比との組み合わせで 0 または 5 が入ります。
　　2. お客様でボルト・ナットを準備される場合は、そのボルト・ナットに適した締付トルクとしてください。